



教育委員会だより

直方の教育

お問い合わせV学校教育課 TEL25-23323

全国学力・学習状況調査結果から

学校教育課

本年4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。この発表に基づき、本市の児童生徒の状況を報告します。

1 調査結果概要

下のグラフをご覧ください。図1は小学校6年生、図2は中学校3年生が、この3年間でどのように変容しているかを示しています。

小学校の国語・算数、中学校の国語・数学、どの教科においても、この3年間で県平均に近づいていることがわかります。

数値は県の平均得点率を100としたときの本市の得点率の割合を表したものです。

小学校4年生時は福岡県チャレンジテスト、5年生は福岡県学力調査の結果を示しています。中学校は、1年生・2年生時は福岡県学力調査の結果を示しています。

2 取組と成果

右のグラフで見えていただいたように、子どもたちの学力の向上が見られました。

令和5年度直方市教育施策要綱に示していますが、直方市では「未来を拓く」を大きなテーマとし、新しい時代をたくましく生き抜く人づくりを目指しています。その中で、主要施策の1番目が、確かな学力の育成（学力の向上）です。具体的な取組の2点について、説明します。

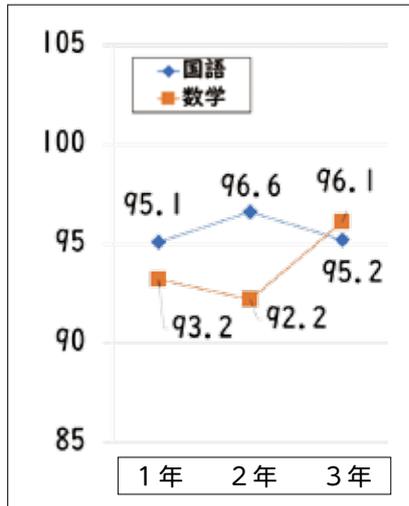


図2 現3年生の変容 (中学校)

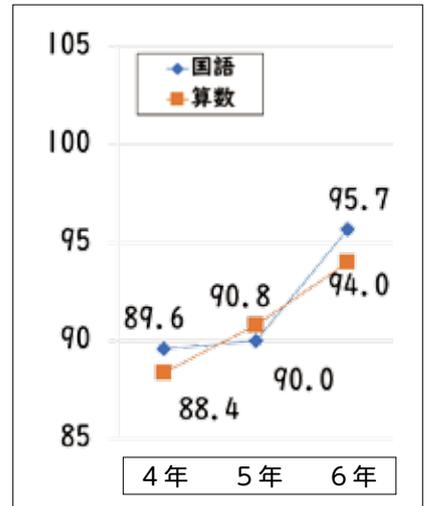


図1 現6年生の変容 (小学校)

② ICT機器を活用した学習・指導方法の改善

直方市でも、令和2年度末に全小中学校に一人一台端末を導入し、今年度で3年目を迎えています。今年度は市内全ての小中学校でICT機器の活用を取り入れた研究を実施しています。同学習状況調査の質問紙において、中学校ではタブレットを使用する頻度が福岡県や全国を上回っています(図4)。

今後、小学校でもさらなる活用に取り組んでいきます。

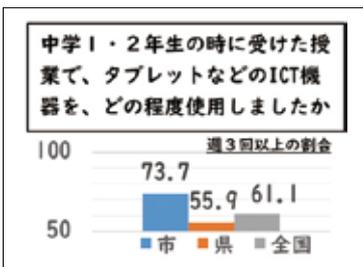


図4 質問紙の比較

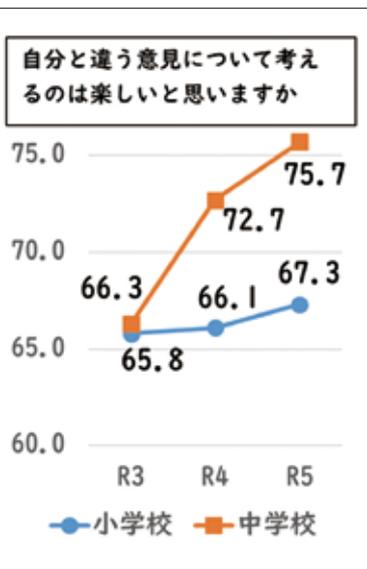


図3 質問紙の変容

①授業改善
授業の進め方を示した「のおがた授業モデル」を活用して、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業への転換を図っています。全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙では、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という質問に肯定的な回答をした割合は小学校、中学校ともに向上しています(図3)。

「一人一台端末」と

「校務支援システム」の整備

教育総務課

一人一台端末の整備

令和2年度末に、直方市立小中学校全てにおいて一人一台の端末が完備されました。また全普通教室の電子黒板設置も今年度中に完了する予定です。学習における環境としてICT機器を整備することは、効率的な学習効果をもたらすだけでなく、新しい学習領域を広げる可能性も秘めています。プログラミングやデータサイエンスなどICTの進化とともにクラウドアップされる分野は今後拡張していくことが予想されます。情報工学のような高度なものからゲームや消費生活などの身近なものまで将来そのあり様は大きく変わっていくことでしょう。

ICT環境の中で学習すること、より効率的・効果的な学習をし、幅広い興味と関心をもつことができ、子どもたちが社会の変化に対応し、新しい世界にチャレン

ジできるようにこれからもハード面の整備に努めていきます。

校務支援システムの整備

一方、教員の事務業務に関しては、今年度校務支援システムの完備を予定しています。成績表作成や児童生徒の個々の情報把握など煩雑であった事務の効率化やその連携を進めることで事務量が軽減でき、事務業務に追われていた教員の働き方改革に寄与することができます。さらに余った時間を使って子どもたちとより多く向き合うことができそうです。ハード面の効率的な整備がソフト面の充実を支えることとなります。

いずれも将来を見据えた、子どもたちの可能性の拡大と教育の充実に貢献できるものです。ICT環境づくりの側面から教育の充実を目指すものとなっています。



「カノアラウレアーズ福岡」と
のフレンドリータウン協定の
締結について

文化・スポーツ推進課

直方市は、令和5年8月22日、女子バレーボールチーム「カノアラウレアーズ福岡」とのフレンドリータウンに関する協定を締結し、今後、バレーボールをはじめとするスポーツ振興を軸とした地域活性化へ向けた取り組みを進めるとで合意いたしました。

「カノアラウレアーズ福岡」は福岡市に拠点を置く福岡県初の女子バレーボールチームであり、今秋から日本バレーボールリーグ3部(V3)への参入を決めている、今最も勢いのあるチームです。

今後は、子どもたちを対象とするバレーボールアカデミー開催等を通じたバレーボール人口創出や競技レベルの底上げ、「バレーのまち直方」の復活、チームの応援を軸とした地域とのコラボレーションを目指すとともに、市の観光を含めた地域活性化にも協力してい

ただく予定です。

バレーボールアカデミーは、市体育館においてすでに数回開催され、市内の中学生も参加しました。Vリーグのチームを率いる監督から直接指導をしていただける貴重な機会とあって、子どもたちも目を輝かせて話を聴き、懸命にボールを打ち込んでいました。

「カノアラウレアーズ福岡」には、これから市内でのイベントや行事に積極的に参加していただく予定であり、学校行事等で児童や生徒と触れ合う機会もたくさん増えることを期待しています。

学校に監督や選手を招き、体育の授業に参加してもらったり、子どもたちにもいろいろな話をしてもらったりすることもとても有意義なことだと思います。

フレンドリータウンとして、まちぐるみでチームを応援し、チームからは地域に元気と活力をもらう。

そのようなWINWINな関係の構築を目指してまいります。

